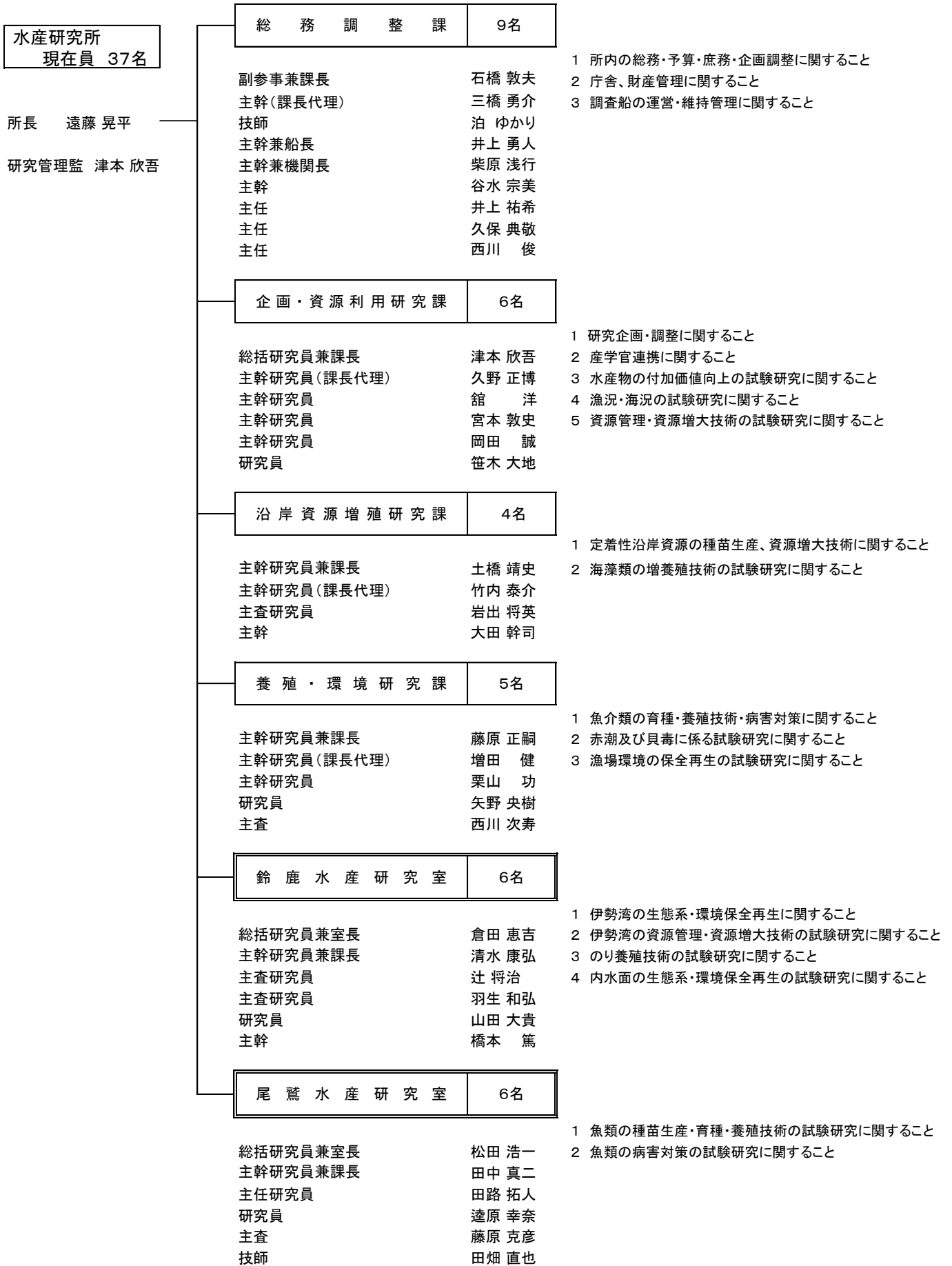


総務に関すること

平成30年度 組織と事務分掌



平成30年度 事業一覧

事業名	事業概要	担当	実施年度
1. 水産研究所			
(施策 31102) 農林水産技術の研究開発と移転			
●水産関係県単経常試験研究費			
1- ① アユ資源回復のための放流効果向上対策事業	アユの放流効果を向上するため、カワウ被害軽減、冷水病対策等に取り組む。	鈴鹿水産研究室	H28～30
② 英虞湾漁場環境基礎調査	英虞湾の水底質環境ならびに餌料プランクトンや赤潮プランクトンの消長等を調査し、英虞湾プランクトン速報として関係機関に情報提供するとともに、漁場環境の長期変動を把握する【一部志摩市委託】。	養殖・環境研究課	H25～34
③ イセエビ種苗生産・放流技術の高度化	低コストかつ安定して飼育できるイセエビの種苗生産技術および中間育成技術の高度化に取り組む。生産した稚エビの海域における行動把握のため、小規模な放流試験を実施する。	沿岸資源増殖研究課	H29～31
④ 伊勢湾の複合型藻類養殖技術開発事業	伊勢湾での青ノリ養殖の適地把握や食害防止技術開発、青ノリ養殖による複合経営の費用対効果の検証を行い、複合型藻類養殖の技術開発を目指す。	鈴鹿水産研究室	H27～30
⑤ 三重県産魚類養殖技術の高度化	養殖魚のさらなる品質向上・安定生産のために、餌料組成および給餌方法の検討、脂質含量等の品質の安定化を図る養殖技術の開発、環境変化に対応した養殖手法の検討に取り組む。	尾鷲水産研究室	H29～31
●水産業技術高度化研究開発推進事業費			
2- ① 研究基盤向上	外部評価委員による研究評価委員会開催、調査設備等修繕、試薬廃棄などを実施する。	総務調整課/企画・資源利用研究課	H17～
② アサリ漁業復活のための大規模漁場整備・維持管理手法の開発	これまでに開発した砕石覆砂の漁場整備技術を活用して、大規模な漁場整備技術を確立するとともに、アサリの生残・成長が良好な漁場の維持管理手法の開発に取り組む【水産庁委託】。	鈴鹿水産研究室	H30～32
③ 二枚貝の養殖等を併用した高品質なノリ養殖技術の開発	二枚貝養殖によるノリへの栄養塩供給量の推定手法とノリの生理状態評価手法の開発に取り組む【水産庁委託】。	鈴鹿水産研究室	H27～30
④ マハタ種苗の健苗性向上研究事業	マハタ種苗の生残率向上や形態異常低減のための技術開発に取り組むとともに、中間育成以降の形態異常について調査する【水産振興事業団委託】。	尾鷲水産研究室	H30
⑤ 二枚貝類の陸上飼育に関する研究	アサリの陸上飼育技術の高度化により、陸上水槽でのアサリの安定生産と生産規模拡大を図るとともに、他の二枚貝類への応用を目指す【水産振興事業団委託】。	鈴鹿水産研究室	H30～32
⑥ 耐病性や真珠品質にもとづくアコヤガイ選抜技術と育種素材の開発	国内の主要真珠生産漁場(三重県では英虞湾)において、耐病性や真珠品質にもとづく親貝の選抜等の技術開発を行う【国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構委託】。	養殖・環境研究課	H28～32
⑦ 青のり養殖に関する技術開発事業	需要が高まっている養殖青のり(ヒトゲサ)の増産のため、養殖網への種苗の付着状況を迅速かつ簡易に確認する技術開発等を行う【志摩市委託】。	沿岸資源増殖研究課	H29～31
⑧ 広域漁場整備調査実証事業	伊勢湾のアサリ資源について、成長段階における生息場所、移動分散経路等を調査し、生活史の循環を阻害する要因を除去、緩和するための水産環境整備手法を提案する【水産庁委託】。	鈴鹿水産研究室	H29～30
⑨ 希少な日本産アコヤガイの保全と採苗技術開発に関する試験研究事業	県内で唯一、純国産種のアコヤガイが確認されている九鬼湾において生息調査を実施するとともに、天然採苗と飼育試験を行い、純国産種のアコヤガイ保全のための検討を行う【全国真珠養殖漁業協同組合連合会委託】。	養殖・環境研究課	H29～32
⑩ 高DHA含有ブリの養殖実用化技術開発事業	飼料中のDHA等脂肪酸の含有量の最適化を進め、DHA含有率の高い高品質のブリを効率的に生産するための技術開発を行う【国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構委託】。	尾鷲水産研究室	H29～31
⑪ 地場種苗・健康診断・経営戦略でピンチをチャンスにかえるマガキ養殖システムの確立	地場採苗によるマガキの養殖試験をはじめ、新たに共同研究機関が開発する養殖技術や知見を活用して、高品質なシングルシードマガキ養殖手法を検討する【国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構委託】。	養殖・環境研究課	H30～32
●資源評価調査事業費			
3- ① 資源評価調査事業	漁獲統計資料の解析、生物測定、調査船調査の結果により、イワシ類・アジ・サバ類・ブリ・マダイ・スルメイカ・トラフグ等の資源量を評価し、漁獲可能量(漁獲割当量)算出の基礎資料を収集する【水産庁委託】。	企画・資源利用研究課	H12～
●日本周辺高度回遊性魚類資源調査事業費			
4- ① 日本周辺高度回遊性魚類資源調査事業	マグロ類やカツオなどの高度回遊性魚類について、国際的な資源管理体制の確立が必要となっている。そのため、国を中心とした全国組織のもと、漁獲データや生物調査結果等の収集・解析を行う【水産庁委託】。	企画・資源利用研究課	H13～
●熊野灘沿岸域における有害プランクトン優占化機構に関する研究費			
5- ① 熊野灘沿岸域における有害プランクトン優占化機構に関する研究	熊野灘沿岸域における有害プランクトンの監視および長期的変遷と発生環境を把握するとともに、有害赤潮の形成メカニズムを解明し、有害赤潮による漁業被害の防止に資する【水産庁委託】。	養殖・環境研究課	H30～34
●水産業試験研究管理費			
6- ① 管理費	水産研究所の施設の管理運営を行う。	総務調整課	

事業名	事業概要	担当	実施年度
2. 水産資源・経営課、漁業環境課、水産基盤整備課、フードイノベーション課執行委任			
(施策14502) 農水産物の安全・安心の確保			
●消費者に安心される養殖水産物の生産体制整備事業費 7ー ① 養殖衛生管理体制の整備	飼育管理技術の改善と水産用医薬品の適正利用を指導し、養殖衛生管理体制の整備を図る。	養殖・環境研究課/鈴鹿/尾鷲水産研究室	H15～
② 水産物の安全の確保	貝毒による食中毒を防止するため、貝毒プランクトン出現動態と二枚貝毒化に関する知見の収集と蓄積を図る。また、ヒラメクドアを含めた養殖水産動物および放流用種苗の有害微生物による汚染の検査とまん延防止対策指導を行う。	養殖・環境研究課/尾鷲水産研究室	H18～
(施策31101) 食のバリューチェーン構築による新たなビジネスの創出			
●みえの食バリューチェーン構築事業 11ー ① みえの食バリューチェーン構築事業	海藻等水産物の機能性成分の探索と機能性成分を活かした商品開発を行う。	企画・資源利用研究課/尾鷲水産研究室	H27～31
(施策31401) 高い付加価値を生み出す水産業の確立			
●持続的な水産物供給体制構築事業 8ー ① 真珠品質を向上させる適正養殖管理手法の検討	真珠養殖業者と連携して国産アコヤガイの飼育条件や養殖管理に関する真珠生産試験を実施し、適正な飼育条件や養殖管理作業について検討する。	養殖・環境研究課	H30～31
② 三重県産マガキ種苗の安定確保対策	これまでの天然採苗手法に関する知見を整理してマニュアルを作成するとともに、海域での種見作業の適正化及び生産者の技術向上のための研修等に取り組むことにより、天然採苗の安定化を図る。	養殖・環境研究課	H30～31
●サミットのレガシーを活用した海女漁業活性化事業費 9ー ① アワビ種苗放流技術高度化事業	海女漁業の収益性向上のため、コンクリート板漁場において、単価の高いクロアワビの種苗放流試験を行う等により、アワビ類の放流技術の高度化に取り組む。	沿岸資源増殖研究課	H29～31
●三重ノリ生産・販売体制構築事業費 10ー ① あさくさのり生産・販売体制の構築 10ー ② 黒のり生産体制の構築 10ー ③ 青のり増産・安定供給技術の開発	アサクサノリを本県の特産品とするため、安定した品質と生産量を確保するための養殖技術を確立する。 三重県の漁場環境に適した黒ノリ新品種の作出や製品の高品質化に取り組み、持続的な黒ノリ養殖業の実現を目指す。 健康食として注目される海藻類の増産を図るため、イトノリ類養殖技術の確立および現場普及を図る。	鈴鹿水産研究室/沿岸資源増殖研究課	H28～31
(施策31403) 資源管理・漁場環境保全等の推進			
●資源管理体制・機能強化総合対策事業 12ー ① 三重県沿岸域における水産資源の資源評価体制構築事業	本県の沿岸水産資源の評価を行うとともに、各地区で取り組まれている資源管理計画について、収益性の視点も含め検証する。	企画・資源利用研究課/沿岸資源増殖研究課/鈴鹿水産研究室	H27～
② イカナゴ資源回復緊急対策調査	イカナゴ資源の回復を目的に、詳細な底質調査による夏眠適地の特定など夏眠期における減少要因究明に必要な調査を実施する。	鈴鹿水産研究室	H30
(施策31404) 水産基盤の整備・保全			
●県単沿岸漁場整備事業費 13ー ① 熊野灘浮魚礁技術活用促進調査	浮魚礁の効果的な運用・活用方法の検討に資するため、浮魚礁設置海域周辺の流動環境、魚群の集積状況等を調査する。	企画・資源利用研究課	H24～
●海女漁業等環境基盤整備事業 14ー ① 人工藻礁におけるヒジキ増殖に関する研究 ② アワビ稚貝場造成研究事業	人工藻礁を利用したヒジキ資源の増大のため、ヒジキの増殖に適した付着基質等の検討を行う。 天然アワビ稚貝が増殖しやすい条件を放流調査等により検討し、アワビ稚貝場の造成手法を開発する。	沿岸資源増殖研究課 沿岸資源増殖研究課	H25～30 H24～30
●伊勢湾アサリ復活プロジェクト推進事業費 15ー ① アサリ稚貝移植システムの開発と実証 ② アサリ稚貝移植資源量調査事業 ③ アサリ母貝場干潟造成効果評価事業	漁業者がアサリ稚貝を大規模に漁場へ移植するための手法を開発普及し、漁獲量の増大を実証する。 伊勢湾北中部海域の河口域に発生するアサリ稚貝資源量の把握と移植効果調査を実施する。 四日市市楠町地先に造成中の人工干潟とその周辺域において、アサリの生息状況や生息環境を調査し、造成干潟のアサリ母貝場としての機能性を評価する。	鈴鹿水産研究室 鈴鹿水産研究室 鈴鹿水産研究室	H28～30 H28～30 H26～
(施策32203) ものづくり基盤技術の強化			
●文科省事業(エコシステム形成プログラム) 16ー ① 深紫外LEDで創生される産業連鎖プロジェクト事業	深紫外LEDを用いた水産用海水の殺菌について、イセエビの飼育実験などを用いて実証する。	沿岸資源増殖研究課	H29～33